2025年度　上期

2026年　5月　29日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	一般社団法人　おりがみ	
代表者名	半沢裕子	
連絡先 TEL：070-8483-4446 FAX：		E-mail origami.kesennuma@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	子どもの居場所　子ども食堂『OGARU』 こどもの放課後の居場所つくり『こども放課後たんけん』運営事業
事業の目的	こども食堂は地域における子どもおよび家庭の孤立防止と、地域住民、学校関係者、まちづくり団体等との連携を深めており、子どもから高齢者まで多世代が関わるネットワークを形成。活動の中で支援が必要な家庭や子どもに気づいた際には、関係機関と連携しながら見守りや必要な支援へとつなげる。また放課後の時間に、子どもたちが「遊び・体験・探究」を通して、地域や自分自身を再発見していく学びの居場所づくりを行う。子どもを“預かる”だけではなく、一人ひとりと関わり、安心して過ごせる居場所をつくるとともに、子どもたちの“育つ時間”を創出する。地域の人とのつながりや関係づくりは、防犯・防災にもつながる。 スマホやタブレットの普及、児童数の減少、共働き家庭の増加などにより、子どもたちがリアルな体験や日常的に身体を動かす機会は減少しているため、「たんけん」から「探究」へと好奇心を育み、小学生期の体験を中学生以降の探究学習につなげていく。
事業の具体的内容	① 子ども食堂『OAGRU』運営 内容：居場所としての活用と無償での昼食提供・職場見学 実施方法：毎月２回（出張子ども食堂） 無償での昼食提供・自由遊び・宿題サポート・地域交流 小中学生対象 ② 子どもの放課後の居場所つくり『こども放課後たん

	けん』 内容：毎月１回（８月は夏休みのため中止） 実施方法：子どもたちの放課後の居場所として運営 運動あそびや地域の企業等の見学、地域交流を行う 運動・宿題や好きなことができる環境を整えて運営
活動の開始から完了までの流れ	① 子ども食堂『OGARU』 9月27日　84人 10月11日　23人 10月18日　20人 11月8日　26人 11月22日　31人 12月13日　28人 12月13日　130人（同日開催出張こども食堂） 12月21日　12人 12月27日　22人 1月17日　28人 1月31日　29人 2月6日　インフルエンザ蔓延にて中止 2月14日　40人 2月21日　34人 3月21日　24人 3月28日　29人 ② 『こども放課後たんけん』 9月19日　地域たんけん　20人 地域の老人クラブさんと昔遊び 10月3日　運動あそび　21人 体育館を使っての運動あそび 11月14日　運動あそび　28人 まねっこ体操やカバディ等の運動あそび 12月5日　地域たんけん　25人 クリスマス工作・鹿折オリエンテーション 1月23日　運動あそび　26人 ドッジボール大会 2月27日　運動あそび　26人 ミニ運動会 3月6日　地域たんけん　29人 お楽しみ会（宝探し・椅子取りゲーム等）
活動の成果と教訓	子ども食堂は子どもたちが安心して過ごせる居場所として定着し、継続的な参加につながった。無償での食事提供により孤食防止や生活支援につながるとともに、地域住民やボランティアとの交流を通して、地域とのつながりを感じられる機会となった。宿題サポートや自由遊びを通して子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを行うことができた。高校生ボランティア

	の参加もあり、地域全体で子どもを見守る体制づくりにもつながっている。放課後たんけんは、回を重ねるたびに参加者が増え、登録者数も大幅に増えた。学年の垣根を越えて交流する様子がよく見られた。子どもたちが自らやりたいことを選択したり、主体的に動く場面も増えてきました。また、高学年が低学年をサポートする姿など、異年齢交流も随所でみられた。保護者の方々からも「“また参加したい”と言っている」「夜ぐっすり寝てくれるんです」「楽しかったという声を聞けて嬉しい」といった声をいただき、必要性を改めて感じた。
今後の展望など	子どもたちが安心して過ごせる居場所が継続的に提供されることで、孤立の予防や安心感の向上が期待され、地域住民との関わりや多世代交流の機会が生まれることで、地域内の関係性の構築および見守り体制の強化に引き続きつなげていきたい。 また、子ども食堂の場において自然に学習に取り組める環境を整備し、勉強習慣の定着や学習に対する意欲の向上を目的とした学習支援を取り入れていきたい。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	276,000	
自己資金	14,769	
合計	290,769	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
食糧費	子ども食堂食事	180000	227,952
材料費	子ども食堂・放課後たんけん使用品	30000	49,817
保険料	子ども食堂・放課後たんけん開催保険料	14000	13,000
合計			290,769

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。





年間レポート2025

放課後も
あそぼう！まなぼう！

こども放課後たんけん in鹿折

放課後も全力で楽しもう！！

学校から直接行ける！
小学校から公民館までスタッフや鹿折こども見守り隊の皆さんが安全に引率します。

誰でも参加できる！
低学年・高学年の子どもたち誰でも鹿折地域の小学生は参加OKです！

いろんな学年、大人と関われる！
学年の枠を超え、地域の方や大学生など様々な年代の大人も一緒にあそびます。

『こども放課後たんけん』は、子どもたちが思いっきり身体を動かし、地域に飛び出し五感を使った体験ができる、小学生の放課後プログラムです。楽しく身体を動かす「運動あそび」と地域を探検し表現する「地域たんけん」の２種類のプログラムを行っています。

過ごし方

「運動あそび」の日

下校後	自由あそび・宿題
15:00	プログラム
16:30	自由あそび・宿題
17:00	終了

「地域たんけん」の日

下校後	自由あそび・宿題
15:00	はじまりの会
15:15	たんけんしよう！
16:45	おわりの会
17:00	終了





鹿折小学校の子どもたちを対象に募集

スタッフとこども見守り隊が下校時間に合わせて校門までお迎え！子どもたちを学校まで迎えに行き、”学校から直接行ける”ことを大切にしています。







★私たちの想い

放課後たんけんは放課後の時間に子どもたちが「遊び・体験・探究」を通して、地域や自分自身を再発見していくための居場所づくり・学びの活動です。

ただ子どもを“預かる”だけでなく、一人ひとりと関わり、安心して過ごせる居場所をつくるとともに、子どもたちが“育つ時間”にしていきたいと思っています。

また、私たちも含めた地域の人と顔を繋ぎ、関係づくりも大切にしています。



★大切にしていること

- 挨拶をしっかりできる
- やりたいことを選択できる
- 地域を知る
- 体を動かす
- ここでしかできないことを体験する

★活動のなかで生まれた変化

今年度から開始した放課後たんけんは、回を重ねるたびに参加者が増え、登録者数も12名から38名へと、大幅に増えました。学年の垣根を越えて交流する様子がよく見られます。

子どもたちが自分の意見や気持ちを言葉にしたり、自らやりたいことを選択したりと、主体的に動く場面も増えてきました。また、高学年が低学年をサポートする姿など、異年齢交流も随所でみられます。

保護者の方々からも「“また参加したい”と言っている」「夜ぐっすり寝てくれるんです」「楽しかったという声を聞けて嬉しい」といった声をいただいています。





2025年度　全9回/のべ203名

運動あそび　全5回（6月・10月・11月・1月・2月）/113名

走る・投げる・跳ぶなどの身体を使ったあそびを通して、楽しく運動するプログラムです。基礎的な体力や動きの発達の向上、コミュニケーション能力を育む機会になっています。宮城県女川町の保育園や小学校で運動遊びプログラムを提供している、株式会社つなぐさんと協働で実施しています。

ドッヂビーや鬼ごっこを実施したり、子どもたちからのリクエストでカバディを実施したり思いっきり身体を動かしました。

地域たんけん　全4回（7月・9月・12月・3月）/90名

地域に飛び出し、思いのままに表現して好奇心を育むプログラムです。

地域の老人クラブや公民館とコラボし、地域の方々と昔遊びを通して交流しました。また、子どもたちが自分で考えたプログラム『鹿折を知るオリエンテーション』を実施。鹿折内の商店にグループで分かれてインタビューをしました。このように地域と繋がる取り組みを行なっています。



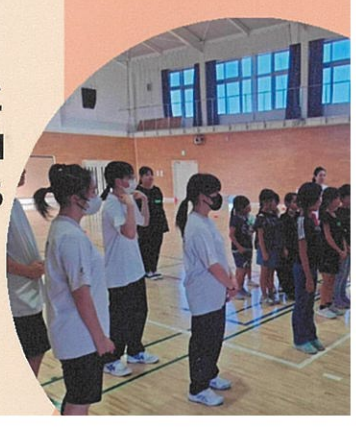




毎回レポートを発行

どんな活動をしているかを伝え、次回から参加してみたいと思ってもらえるために、レポートを発行し鹿折小学校の子どもたち皆さんに配布しました。

「子どもたちはこんな表情を見せてくれたな～」、「こんなところが成長したな～」と、プログラムを振り返りながら気持ちを込めて書きました。







第三の居場所、放課後

地域で楽しむ放課後



こんなメンバーが関わっています


はんちゃん


えりか


さやか


さとみ


こうや


くによし


さつき


ちか







主催　一般社団法人おりがみ(担当：半沢)
origami.kesennuma@gmail.com
070-8483-4446
一般社団法人まるオフィス
共催　鹿折まちづくり協議会
後援　気仙沼市教育委員会
協力　鹿折地区振興協議会
(鹿折こども見守り隊)

一般社団法人 おりがみ Cafe & Childcare

maru-office

関連URLまとめ

Instagram